

Q19 辺野古・大浦湾の自然環境について教えてください。

A

沖縄には、世界的にも貴重な亜熱帯島嶼(とうしょ)域の豊かな海と森があり、これらは私たちの誇るべき財産とすることができます。

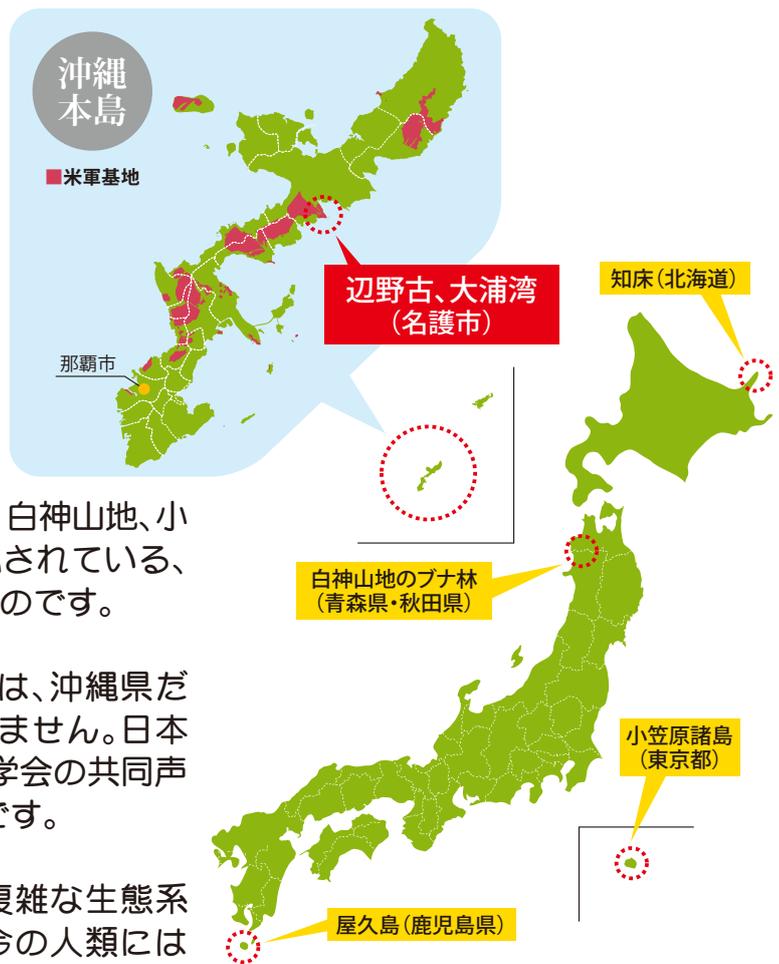
その中でも、辺野古・大浦湾周辺の海は、特異な地形的特徴を反映し、多様な生態系が狭い水域に組み合わさっています。

沖縄防衛局による環境影響評価の調査でも、この海域で絶滅危惧種262種を含む5,800種以上の生物が確認されているのです。

これは、人類共通のかけがえない財産であり、将来の世代に引き継いでいくべき世界自然遺産として登録されている、知床、白神山地、小笠原諸島、屋久島でそれぞれ確認されている、3千から5千という数を上回るものです。

この地域の自然環境の重要性は、沖縄県だけが主張していることではありません。日本生態学会をはじめとした19もの学会の共同声明でも指摘されていることなのです。

絶滅した生物を蘇らせたり、複雑な生態系を再構築する力は、残念ながら今の人類にはありません。



■日本の世界自然遺産登録地の生物種について

所在	名称	登録年	面積※1	生物種数※2
鹿児島県	屋久島	1993年	約10,700ha	約4,600種
青森県／秋田県	白神山地	1993年	約17,000ha	約2,900種
北海道	知床	2005年	約71,100ha	約4,200種
東京都	小笠原諸島	2011年	約7,900ha	約4,400種

※1 「日本の世界自然遺産ホームページ(環境省)」 ※2 各登録地の世界自然遺産管理計画

■辺野古・大浦湾の生物種について

所在	名称	調査範囲の面積 ※1	生物種数 ※2
沖縄県	辺野古・大浦湾	約3,600ha	5,806種

※1 沖縄防衛局が提出した願書の添付図書「環境保全に関し講じる措置を記載した図書」で示された、海域生物の調査方法をもとに、沖縄県が概算したものである。

※2 図書P6-13-137